

ぽらーの花巻

JAいわて花巻 PublicRelationMagazine, PolanoHanamaki

特集

あなたの人生と共に JAのくらしの活動



ちょっといい話

ミニトマトのあれこれ

どっちが先? トマトとミニトマト

ミニトマトは、トマトから派生したものだと思っていませんか!? 実は、ミニトマトの仲間である「チェリートマト」の方がトマトより先に生まれているのです。

ミニトマトは栄養の宝庫!

同じ量で比べると、トマトよりも栄養価が高いミニトマト。とても小さいですが、たくさんの栄養が凝縮して含まれています。中でも、特に注目したいのが「リコピン」。美肌・美白効果があるほか、生活習慣病やがんの予防にも効果的です。今が旬のミニトマト。普段の食事に取り入れてみてはいかがでしょうか。

おいしいミニトマトの選び方

全体の色が均一で濃く、張りつつやのあるものが、おいしさが詰まったミニトマトです。また、ヘタにも気を付け、濃い緑色をしているものが新鮮です。

野菜室? 冷蔵室?

ミニトマトの保存方法

みなさんはミニトマトを冷蔵保存するとき、野菜室で保存していませんか!? トマトは野菜室ですが、実はミニトマトは冷蔵室がオススメです!

冷蔵保存の手順

- ①ヘタを取ってよく洗い、キッチンペーパーで水気を拭き取る。
- ②タッパーにキッチンペーパーを敷く。
- ③ミニトマトのヘタを下にして入れ、タッパーの蓋を閉めて冷蔵室で保存する。

ミニトマトを冷蔵室で保存すると、1週間程度は長持ちします。また、まだ熟していない緑色のものは常温に置いて追熟させましょう。



1.いつも明るい笑顔が溢れる構成員たち 2.先進的な取り組みとして、JAの現地見学会も開かれる 3.着果や果実の肥大促進のために行うホルモン処理。母さんたちが一つ一つ丁寧に扱う 4.JA全農が開発した「ういずOne」。発泡スチロールを使った栽培で、育苗後の遊休ハウスを有効活用 5.母さんたちが丹精込めて作ったミニトマト

炎 天下の中農事組合法人・胡四王みらいの新しいパイプハウスを訪ねると、真つ赤なミニトマトと元気で明るい皆さんが迎えてくれた。同法人は、県内でも数少ない水稲種子生産を主な事業とする法人で、平成26年に設立。自主運営する最新鋭の「種子センター」を建設して優良種子生産に励み、全国各地から視察に訪れるほどの法人だ。そして今年、一つの転機を

迎えた。新規育苗ハウスでの原種苗の育苗受託と、トロ箱式溶液栽培システム「ういずOne」による育苗後のハウスを有効活用したミニトマトの栽培を始めたのである。園芸品目への新たな挑戦だ。中島一代表理事(表紙写真中段左から3人目)は「農業情勢を見据え、いろいろなことに挑戦したい。さらに、経営の多角化で若者に興味を持ってほしい」と話す。

そんなミニトマト栽培の中心となっているのが、表紙で笑顔を見せる地域の母さんたちだ。「地域の雇用場を作ろう」と募集し、予想を遥かに超える13人が集まった。働く皆さんは「近くで働け、地域の情報交換も出来て楽しい」と笑顔を見せる。さらに、時折食事会を開くなど地域の活性化にも繋がっている。今年から始めた新たな挑戦。ときには上手く進まない

こともある。だが、徐々に歯車が噛み合い、小さな変化が生まれてきている。そして、いつか大きな変化となるだろう。中島代表理事は「私たちは、この地域の農業のリーダー。地域一丸となって地域農業に取り組んでいく」と意気込む。彼らは、自分の仕事と法人の仕事とを両立する努力家だ。その原動力を問うと、ある言葉が笑顔で返ってきた。「この地域が好きだから」。

皆で力を合わせて取り組む新たな挑戦 ミニトマトが生み出す“地域力”

農事組合法人 胡四王みらい ◎花巻市



【法人データ】花巻市矢沢地域を中心とした農家134人で構成。ひとめぼれやつぶゆたか、吟ぎんの種子を約76haで栽培し、転作作物としてナンブコムギや大豆、ハトムギを約104haで栽培している。ミニトマトはパイプハウス3棟で828本を栽培。JA全農いわてが買い取り、関東圏に出荷している。平成29年度の計画は数量2000kgで、販売額は120万円。また、社会保険を完備して正職員を雇うほか、地域集積協力金で格納庫を改修するなど地域に根差した活動を展開中。

CONTENTS

ぼらーの花巻 ●No.234 / 平成29年(2017)8月号

02 ぼらーのCOVER STORIES
愛農土に生きるII

04 特集
あなたの人生と共に
JAのくらしの活動

08 ぼらーのNEWS ●地域の話題

10 あぐりネット

12 かがやく女性部 / 食と農の掲示板

13 旬の産直大百科 / ぼらーの広場

14 Information ●理事会だより / 監事会だより

16 風趣点景 ●管内四季だより / 編集後記

あなたの人生と共に

J Aの くらしの活動

くらしの活動って..

組合員や地域住民の皆さんの暮らしの中には、より良い人生を歩んでいくための、さまざまな希望や願い、多様なニーズがあります。皆さんが感じているそういった思いを叶え、安心して暮らせる豊かな地域社会の実現に向けて、仲間とともに創り上げる自主的な活動が「くらしの活動」です。JAは、組合員が自主的に取り組むくらしの活動を積極的に支援しています。

地域・協同活動の活性化を

JAは、第3次中期経営計画(平成28年度～平成30年度)に掲げる「農業者の所得増大・農業生産の拡大」「地域の活性化・協同活動の活性化」「結びつき強化・経営基盤強化」の3本柱を基本目標として取り組んでいます。くらしの活動は、その中の地域の活性化

と協同活動の活性化、そして結びつき強化に繋がる重要な取り組みとして位置付けており、組合員と地域の願いを実現することを目的としています。

広がる農業・JAファンの輪

平成28年4月に「農協改革を踏まえた改正農協法が施行されるなど、農業・農村・JAが置かれる環境が厳しさを増す中、私たちJAと組合員は、地域農業を守り未来に残す使命があります。そのため、地域に根差した協同組合組織として、地域住民をはじめとした多くの人々に、「JAっていいな」「農業は必要不可欠な貴重なもの」と感じてもらう、農業やJAのファンになってもらう活動が必要です。

それがまさに「くらしの活動」であり、この活動の活発化が協同活動の発展に繋がります。さまざまなくらしの活動(小さな協同活動)を通して仲間の輪が広がり、それが大きな協同として渦を巻くこととなります。小さな協同活動の連携は地域コミュニティを活性化させ、農業・農村地域の向上に結びつきます。このようなくらしの活動の展開は、JAファンの誕生↓新たな組合員の加入↓JA事業へ積極的に参加・参画する組合員の拡大↓JAの組織基盤強化↓安心して暮らせる豊かな地域社会の実現へと繋がります。

JA組合員の皆さんは、さまざまな場面で「くらしの活動」という言葉を耳にすると思われます。なぜ、これほどくらしの活動がクローズアップされ、必要とされているのでしょうか。今回の特集では、くらしの活動が何なのか、どのような効果を生むのかを紐解いていきます。また、7月1日に行われた「JAくらしの活動大会」についてお伝えします。

心の豊かさを求め、潤いのある生涯を送りたい 精神面	健康に恵まれ、老後も元気に安心して暮らしたい 身体面	一定の収入を確保して、ゆとりのある生活がしたい 経済面
-------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------

組合員の願い、多様なニーズ、組合員と地域が抱える思いや希望

自らが主体的に活動に参加し、生きがいを追求したい 自己実現	地域や他者の役に立ち、充実感のある人生を送りたい 社会貢献	住みよい地域環境を守り、快適に暮らしたい 環境面
---	---	------------------------------------

これらの願いを実現させるのがくらしの活動です

JAはさまざまな事業や活動で組合員の皆さんが展開する「くらしの活動」を支えます

- 総合事業**
営農/生活/信用/共済/購買/産直/婚活
- 健康推進**
人間ドック/健康講座
- 介護・高齢者福祉**
デイサービス/元気高齢者活動/認知症サポーター
- 食と農を繋ぐ活動**
食農教育/農業体験学習/料理教室/グリーン・ツーリズム
- くらしと家計**
子育て支援/ライフプラン設定/趣味活動支援
- 学びと仲間作り**
女性大学/サークル活動/各種講習会
- ・・・など

地域に密着するJA27支店が拠点となって

相談、企画立て、場所づくり、きっかけづくり...など

支店という大きな樹の下で

たくさんの人が集い、声を発し、活動を起こし、思いを共有し、創り上げていく「くらしの活動」

仲間とともに、くらしの活動を展開していくことは、小さな協同活動がたくさん生まれるということです。

魅力的な地域や活動には、人が集まり、その小さな輪の広がりやがて大きな力になります。

農業やJAのファンが増え、新たな仲間(新規組合員)が加わり、農業の応援団(准組合員・地域住民)が誕生!

積極的にJA事業に参加・参画する組合員が拡大!

組織基盤が強化され、地域コミュニティや地域農業の活性化へと繋がる!

組合員・地域住民が抱える問題が解決されていく。

安心して暮らせる豊かな地域社会が実現する

農業・農村を取り巻く状況から、見えてくる

「くらしの活動」の重要性

現在の農業や農村を取り巻く状況を確認し、本来あるべき姿を想像し、そこから見えてくる目指すべき未来に向けて「くらしの活動」を実践しよう!

現状①

人口減少

若者層の三大都市への人口移動から、少子化や人口減少が発生。地方や農村に重大な影響を及ぼす将来予想がある。

地方創生に向けた「地域の活性化」や、安心して暮らせる「魅力ある農村・地域づくり」に取り組み、「ここで生きていきたい」と思える地域にする。

現状②

農家世帯員の高齢化

農家世帯員の減少が進み、高齢化も急速に進展

くらしを。

食と農、地域とJAを結び取り組みで「地域農業振興」を図る。地域コミュニティや仲間づくりを強化し、定年後の帰農者や新規就農者も含めた新たな「多様な担い手」を取り込み育てる。

現状③

第一世代の交代

これまで地域農業を支え、JAの中核を担ってきた第一世代(70歳～80歳)が世代交代を迎えている。

第一世代が築き上げてきた農村や伝統文化を守り、次世代に繋げる。安定した農業経営や魅力あるJA総合事業の展開のほか、新たな利用者や理解者となる農業やJAのファン、仲間作りを強化する。



くらしの活動大会

大会テーマは、**つながる・ひろがる・願いがかなう 共感の輪**

JAは7月1日、本店総合営農指導拠点センターでくらしの活動大会を開きました。

花巻・北上・西和賀・遠野の各地域から組合員や役員など総勢600人が集まり、くらしの活動に理解を深めました。4つの団体の実践発表や、参加者全員で体を動かした榊フィットネスビジネス研究所の長野茂代表取締役による「日常ながら運動で健康づくり」のほか、会場には、くらしの活動に取り組むグループの活動紹介や作品展示がスラリと並び、手作り加工品やハンドメイド商品などの販売も行いました。

会場の全てが、人と人が繋がって生みだし、広がりをもせた活動です。大会は、活動を展開していく上で参考となるヒントや活力で溢れ、参加者は、仲間や地域と共に活動していくことの素晴らしさを実感しました。

明日から始めよう

小さな活動でも明日から始められることがあります。心に浮かんだ思いを行動に移すと、さまざまな工夫やアイデアが生み出されます。その活動や思いは心に秘めたままにせず、広く発信し、次世代や他地域の方々に繋いでください。ひとつの活動、ひとつの思いが周囲に新たなきっかけを与え、それが広がることで、共感の輪が生まれます。

未来の地域農業の「あるべき姿」と「幸せ」を想像し、そのために今何をすべきかを考え、JAとともに一歩を踏み出しましょう。

組合員と地域とJAがひとつになって

JAは、組合員一人一人の課題を協同の力で解決していく組織です。組合員や住民が抱える問題は地域の中で生じており、課題解決のためには組合員や地域の皆さんにとって一番身近な存在である支店をよりどころにしてください。JAは、支店を拠点として活動を展開し、さまざまな問題に真正面から向き合い、共に歩み解決します。また、事業支援だけでなく職員も共に盛り上げます。

地域と農業を、次の世代に伝え残していくために繋がり、大切に、地域の明るい未来に向けて共に展開していきましょう。

実践発表4

花巻農業女子、はじまりました

農花アグリヴィリーノ
小原 喜代美
川村 姫子
中根 多栄子



花巻市では、新たな事へのチャレンジやステップアップを目指す女性を応援する「花巻農業女子プロジェクト」を展開しており、そのひとつとして昨年「農花アグリヴィリーノ」が結成されました。



農花アグリヴィリーノは、花巻市農政課と地域おこし協力隊、市内の女性農業者などが集まり、何がしたいのか何をすべきか、活動の目的などを皆で話し合い、一から作り上げました。活動は月1回のミーティングで決め、登録している約20人が自由に参加しています。

グループ名は「農業」、「花巻」の頭をとり「農花」、農業を意味する「アグリ」、宮沢賢治が使用したエスペラント語で「女性」を意味する「ヴィリーノ」を結びつけたもの。

新規メンバー募集中!



昨年度は、商品開発の講習会や市内加工場を巡る視察研修、野菜栽培相談会やハンドケア講習会、東京での岩手移住イベントに参加...など活発な活動を展開。

今年度は、土澤アートクラフトフェア(東和町土沢)、どてびっくり市(上町)に出店。今後も各種イベントでの販売のほか、研修会や商品開発講習会、飲食店などの異業種交流会も開く予定。

実践発表3

地産地消活動と産直を夢にのせて

沿岸産直部会
佐々木 良子



東日本大震災後、沿岸地域の生産者は農業を諦めず、震災から3年後の平成26年2月に沿岸産直部会を立ち上げました。しかし、販売場所は無く、母ちゃんハウスだあすこ沿岸店オープンまでの2年は通年出荷用の作物栽培に取り組みながら、仮設住宅をまわる移動販売や仮設店舗での販売、片道2時間かけ花巻市の母ちゃんハウスだあすこへ出荷を続けました。



震災後は臨時大槌支店と仮設店舗「結ゆい」で販売していた(左) 仮設住宅をまわる移動販売。震災直後から今も継続しており、好評を得ている(右)

現在は園芸相談会や研修会を開き、珍しい作物などを組み合わせた少量多品目栽培で、通年の充実した陳列を目指し奮闘中。研修会後は会員同士で苗のやり取りや、情報交換を行っています。



笑顔を見せる平成28年度～29年度の沿岸産直部会の役員

周年出荷への取り組みのひとつ「冬キャベツ」の収穫(左)と店舗に並ぶ様子(上)

実践発表2

牛を追いつつ 元気に明るく 前向きに

女性部北上地域支部西部支部 / ビーフレディースきたかみ
千葉 洋子



私が所属する女性部北上地域支部西部支部は103名。料理講習会、健康講座、手芸講習会、研修旅行など盛りだくさんの活動を楽しんでいます。在籍して約40年、活動を通し、先輩たちのくらしを彩る知恵や工夫、仲間とおしゃべり...とても楽しいひと時を過ごしています。



共に活動し、道ばたなどで出会った時に声を掛け合える仲間の存在がここで暮らしていく楽しさや喜び、そして自信に繋がっていきました。

結婚15年目に、農作業事故でこの世を去った夫、二人の結婚生活が紡いできた「牛飼いの夢」を引き継ぎ、生きる決意をしました。

不安な毎日の中で得た答えは「他人様に負けても、自分には負けない」。「女であることに甘えず、女であることを忘れず」「自分を見失わず、自分らしく生きる」ということでした。これらが社会に一歩踏み出す勇気となり、仲間たちと研鑽する今を作りました。



平成13年に当時の北上市農協肉牛部会女性部で立ち上げた「ビフレディースきたかみ」。仲間とともに、地元野菜や牛肉に合うドレッシングの研究・製作・販売、牛スネ肉を用いた家庭料理コンクール、普及しにくい部位で水煮加工品作りなど、牛飼いの女子たちは、きたかみ牛のPRや、販路・消費拡大に向けて活発な活動を展開中!

実践発表1

食べる人・作る人が輝く 未来を目指して

若手りんご生産者グループ
宇津宮 邦昭



私たちは平成26年に結成し、果樹部会の20代～40代のりんご生産者20人で活動しています。

県内外でりんごのPRや販売促進、地元保育園児や小学生への食育活動を活発に行っています。また、栽培技術向上に向けて、研修会への参加や会員全員のは場視視察で情報交換や切磋琢磨し合い、昨年のJA全農いわて主催のコンテストでは県で優秀賞を獲得しました。さまざまな活動はマスコミに取り上げられ、りんご産地のPRになっています。ほかにも、地球温暖化に対応する新たな樹種として桃に注目し、先進地研修で栽培法などを学んでいます。



収穫体験や出前授業では、「地元で世界最高品質のおいしいりんごがあり、それを作る農家がいる」という事を伝える。来年はその出前授業をさらに進化させるべく、メンバーが出演し1年間のりんご栽培の動画を制作中。

我々の存在やりんごの魅力を広げるための、インパクトのある登録「THE RINGOSTAR」が決定! 決まったら即行動! 朝4時に集合しポスター撮影!



管内の栽培環境に適した高品質で有利販売できる「ふじの有望系統」を見出す試験栽培

先輩生産者が作ってくれた基盤があるから活動ができるという感謝の気持ちを忘れず、今後も積極的な活動を展開します。そして、次世代へりんご作りの魅力を伝えていきます。

歌で楽しいひとときを 組合員のつどい「島津亜矢ふれあい歌謡ショー」



全20曲を熱唱し、来場者を楽しませる島津亜矢さん

J Aは7月3日と4日の2日間、組合員のつどい「島津亜矢ふれあい歌謡ショー」を花巻市文化会館と北上市文化交流センターさくらホール(各会場共に昼と夜の2部公演)で行いました。広域合併10周年記念事業のひとつとして開き、花巻会場1693人、北上会場1670人が来場し、島津亜矢さんは6月に発売した新曲「心」をはじめとする全20曲を熱唱しました。ショーの途中には、歌を歌いながら客席に降りて、来場者と握手をしてもらったほか、ショーの最後には歌とセリフ、踊りによる芝居仕立ての曲「お梶」を熱唱し、来場者を楽しませました。

一致団結で地域に貢献 花巻地域青年部が廃プラ回収



持ち込まれた育苗箱を協力して手際よく下ろす盟友たち

花巻地域青年部は7月8日と15日、花巻市内5カ所で使用済みの農業用プラスチックやビニールの回収を行いました。この活動は、地域貢献と環境を守る活動の一環として毎年行っています。15日には中央カントリーエレベーター前(同市鍋倉)に湯口や太田などから約25人の盟友が集結。組合員や生産者など116人から持ち込まれた育苗箱や肥料袋などを種類に応じて業者指定の回収袋に手際良く詰め込みました。多田徹副委員長は「この活動は、他支部の盟友や地域の人と交流を深め、農業について話す良い機会。今後も地域貢献活動を続けたい」と話しました。

白熱! ゲートボール大会 北上・花巻地域年金受給者友の会



優勝し、賞状や記念品を受け取った横2チーム

J Aは6月27日、北上市和賀町の多目的催事場で「北上地域年金受給者友の会第25回支部対抗ゲートボール大会」を開きました。会員約160人が参加。地区ごとに24チームに分かれ、熱戦を繰り広げました。優勝した横2チーム(横川目)の小原勝彦さん(73)は「皆のチームワークが良かったことが勝因。県大会でも負けない」と意気込みました。また、7月7日には花巻地域の大会を開き、笹間チームが優勝しました。上位の北上地域1チーム・花巻地域2チームは、8月に開かれる「第32回J Aバンク岩手ゲートボール大会」に出場します。

アスパラガス収穫体験! ちゃぐりんスクール

J Aは6月24日、食農教育事業として「6つのしよくを感じよう」食・植・触・色・飾・職」をテーマに行っている「ちゃぐりんスクール」の第2回を開きました。3〜4年生は「色」と「職」をテーマに、北上市和賀町のアスパラガス生産者、神林勝雄さんのほ場での収穫体験とJ A西南アスパラガス選果場の見学を行いました。収穫体験では、「畑の先生」の神林さんからアスパラガスの刈り取り方について教わり、児童たちは自ら鎌を持ち、「いっぱい採ってお母さんにおいしい料理を作ってもらおう」と、広いほ場から太いものや長いものなど、自分好みのアスパラガスを探し出して収穫しました。その後はJ A西南アスパラガス選果場へ移動し、J A職員から収穫されたアスパラガスがどのようなように選果されるか説明を受けました。熟練された選果作業の速さに児童たちからは感嘆の声が上がりました。昼食は、女性部西南支部の部員がアスパラガスの炊き込みおにぎりやベーコン巻きなどアス



1.素早い選果作業に驚きの声が上がりました 2.思い思いのアスパラガスを収穫しました 3.アスパラガスづくしのお昼ごはんはおいしい!

パラガスをいっぱい食べてほしいと料理を振る舞い、児童たちは「おいしい!家でも食べたい」と残さずに食べました。児童たちは、アスパラガスの「色」と生産者やJ Aの「職」に触れました。5〜6年生は「食」をテーマに、本店敷地内の農産加工室と総合営農指導拠点センターで地元で採れたジャガイモやトマト、ズッキーニなどの野菜を使ったパーティー料理を作りました。また、7月22日には、1〜2年生は「食」をテーマに親子で豆腐作り体験、3〜4年生は「触」をテーマに田んぼの生き物調査を行いました。

意識改革で婚活力アップ J A婚活セミナー「婚活作戦会議」

J Aは7月19日、男性を対象としたJ A婚活セミナー「婚活作戦会議」を花巻市内のホテルで開催しました。参加した8人は、(一社)日本結婚支援協会代表理事の田口智之氏から、婚活についての根本的な意識の持ち方や婚活の土俵に上がる重要性を学びました。ほかにも、第一印象で好印象を与える方法や男性と女性の考え方の違いを理解し利用するテクニックを身につけることができ、参加した男性は「気付けなかったことが多く、ためになった。実践に生かしたい」と話しました。J Aは今後も、出会いの場の提供や、スキルアップ講座を展開し、婚活支援に力を注ぎます。



婚活のノウハウを伝授する田口講師と説明に聞き入る参加者たち

園芸

花巻ブルーを地域住民にPR～発信力を強化～

JAは、管内の青色系統の花を「花巻ブルー」と総称して呼び、産地PRを展開しています。市場関係者やバイヤーからは高い評価を頂いていますが、エンドユーザーへの認知度の低さが課題として見えたことから、今年度からは、地域住民へのPR活動をさらに強化しています。

◆花巻市が開設する「市民講座」で花巻ブルー

同市が掲げる「花いっぱいまちづくり」への理解を市民に深めてもらうために開設している「市民講座」で7月25日、JAの営農担当職員3名が講師となり、花巻ブルーの魅力を発信しました。

講師を務めた佐々木隆史調査役は現場での裏話を踏まえながら花の美しさを伝えたほか、花巻ブルーを家庭で楽しんでもらうた



めのさまざまな知識とケア方法を講義。また、2つの農家見学を通して栽培現場の思いを伝えました。

参加した水上昌子さん(69)は「綺麗な花々で心が落ち着く。地元の花巻ブルーがあることは誇れる事だと思った。JAや農家の思いも感じた」と笑顔を見せました。



PR活動展開中! 素晴らしさを地域に向けて発信!

- ★蒸気機関車「SL銀河」の運行期間中、毎月行っているプレゼント企画
- ★HP内に花巻ブルーの特設ページを開設。また特設ページにリンクするQRコードを制作し活用
- ★広報誌「ぼらーの花巻」や地域コミュニティ紙「Yuinou～結農～」で特集を組み発行
- ★代表理事組合長や花担当者の名刺にはブルーシリーズの花を印刷
- ★温泉や駅などが集まる場所への花の設置にも試みた

畜産

第11回全国和牛能力共進会宮城大会への県代表牛決まる

岩手県畜産協会は7月26日、第11回全国和牛能力共進会宮城大会(宮城全共)の県最終選抜会を雫石町で開きました。

種牛の部には県内から27頭が選抜されたうち、JAいわて花巻からは高橋政吉さん所有牛「はれ」と、吉田正志さん所有牛「57ひろくに」が選ばれ、肉牛の部には県内から8頭が選抜されたうち、西部開発農産の「宮勝成」と「照宮勝」が選ばれました。

◆全国和牛能力共進会って?

全国の優秀な和牛を5年に一度、一堂に集めて、改良の成果やその優秀性を競う全国大会。通称「全共」と呼ばれ、全国の代表牛約500頭が出品されます。優秀な成績を収めることで、その和牛ブランドの市場価

値が全国的に高まるため、参加道府県にとっては、まさに威信をかけた大会となります。

- 種牛の部 雄牛・雌牛の体型の良さなど、改良成果を月齢別に審査
- 肉牛の部 枝肉の状態で脂肪の入り具合などの肉質を審査

★牛枝肉トップセールス

花巻農協肉牛肥育生産部会は7月26日と27日、東京都で枝肉の購買者に向けたトップセールスと、東京食肉市場(株)にて第11回花巻農協肉牛肥育生産部会枝肉共助会を開きました。阿部勝昭組合長と花巻市の佐々木忍副市長が、品質の良さと安全安心であることを卸業者や仲買人にアピールすると共に、生産現場の声を伝えました。

共助会には、管内から30頭が出品され、八重樫京一さんの出品牛が肉質の最高評価を受け最優秀賞に選ばれました。

園芸

野菜の生産・販売力強化を目指して「野菜販売対策会議」を開催

JAでは、水田と園芸作物の複合経営による農業者の所得増大・生産拡大を積極的に進めています。野菜部会とJAは野菜販売の強化を図るため、6月27日に「JA野菜販売対策会議」を北上市内で開きました。

【参加者】

生産者、JA、取引市場8社、行政など約65人

【協議内容】

1. 平成29年度野菜生産推進方策
2. 平成29年度販売計画
3. 野菜育成状況、出荷見通し
4. 全農岩手県本部野菜生産販売対策
5. 花巻産野菜に対する要望、販売重点取り組み
6. 全体討議・意見交換

上記の6項目を協議しました。中でも全体討議や意見交換では、市場関係者と生産者が要望や意見を出し合い、会場は活気に溢れました。また、生産・販売振興に向けた今後の進むべきビジョンを全員が明確に描きました。

開会に先立ち冒頭のあいさつ

野菜部会では、今年度の販売計画として約19億円を掲げている。目標に向けて生産者、JA、市場など関係機関が一丸となって力を尽くす。今日の会議はもちろん、互いのさまざまな情報を交換しあい、より強固な産地を作っていく!



野菜部会 和泉隆部会長



活発な意見が出され、産地と消費地、流通などの情報と意識の共有を図った

★市場関係者の声★

- ・JAいわて花巻の野菜の品質はとて信頼している。
- ・早い時期から最後の最後まで、長期的に安定出荷をしてほしい。
- ・売り場はまだまだある。JAいわて花巻の野菜をもっとほしい。しっかり売るので、安心して出荷してほしい。
- ・他産地や気候変動で売値や販売方法も変わる。正確で精度の高いJAいわて花巻の産地情報がほしい。

米穀

カメムシ防除の徹底を

水田畦畔・転作牧草地を中心に調査しています。発生量は昨年並みですが、油断は禁物! 防除の徹底をしましょう!

JAでは、各地域でカメムシのすくい取り調査を行っています。北上地域は7月14日、花巻地域は7月27日、遠野地域は7月28日に実施し、西和賀地域は8月上旬を予定しています。

各地域ともに水田畦畔と転作牧草地の発生量は、昨年並みです。しかし、岩手県病害虫防除所の農作物病害虫発生予察情報発生予報第5号では、カメムシの発生率は「多」の予報なのでカメムシ防除の徹底をお願いします。

今年の出穂は昨年よりも早まりそうなので、出穂を確認の上、穂揃1週間後の薬剤防除の徹底を図りましょう。疑問な点や不安な事がある場合は、お近くのJA各支店営農課までお問い合わせください。

園芸

トマト選果! 高品質を全国へ



石鳥谷東支店に隣接する石鳥谷園芸センター(花巻市石鳥谷町)では、6月下旬からトマトの選果が始まりました。北上市二子町からの出荷を中心とし、管内のトマトはすべて石鳥谷園芸センターに集約し、共同選果しています。出荷最盛期は7月下旬～8月上旬です。

【共同選果のメリット】

- ①収穫後コンテナのまま出荷でき、農家の労力軽減になる。
- ②品質や規格が統一され信頼のおける産地を確立できる。

【平成29年度の販売目標】

販売: 8024万円
出荷: 7万8600ケース(4kg/1ケース)

おいしいトマトの見分け方

★ヘタやガクが濃い緑色で枯れていない★全体の色が均一で皮に張りがある★ざっしりと重たい★お尻部分の放射状の線がはっきりしている

グリーンセンターの定休日と営業時間

8月・9月の定休日と営業時間は次の通りです。ご確認の上ご来店ください。

※定休日と営業時間はそれぞれの店舗によって異なりますのでご確認ください。
※右記のほか、8月31日(木)は棚卸のため全店舗休業します。

	定休日	営業時間	お盆期間中の臨時営業時間
花巻	無休	平日…8:30~17:30/土日祝日…8:30~17:00	14日(月)・15日(火)…8:30~17:00/16日(水)…8:30~15:00
石鳥谷	8/12(土)・9/9(土)	8:00~17:30	16日(水)…8:00~15:00
大迫	土曜日・日曜日・祝日	8:30~17:00	通常営業(8:30~17:00)
東和	8/19(土)・9/16(土)	8:30~18:00	14日(月)・15日(火)…8:30~17:00/16日(水)…8:30~15:00
北上	8/27(日)・9/24(日)	平日…8:30~18:00/土日祝日…8:30~17:00	14日(月)・15日(火)…8:30~17:00/16日(水)…8:30~15:00
西和賀	8/20(日)・9/10(日)・9/24(日)	平日…8:30~18:00/土日祝日…8:30~17:00	14日(月)・15日(火)…8:30~17:00/16日(水)…8:30~15:00
遠野	8/15(火)・9/13(水)	8:30~18:00	14日(月)…8:30~15:00/15日(火)休み/16日(水)…8:30~15:00

●お問い合わせ/営農推進部生産資材課 ☎ 0198-22-6192 または、最寄りのグリーンセンターまで

旬の産直大百科

農産物直売所 母ちゃんハウスだあすこ 20周年創業祭

農産物直売所「母ちゃんハウスだあすこ」は7月8日と9日の2日間、日頃の感謝を込めて20周年創業祭を行いました。2日間で約4000人が訪れ、店内はにぎわいました。

だあすこの会

生産者による「ケールのスムージー試飲会」を行ったほか、日替わりでミニアレンジメント教室や甘酒の振る舞いを行いました。



お楽しみ抽選会



全国提携ファーマーズ

全国から11店舗が集結！各地の特産品などを販売しました。



もちまき



一刻も早い復旧を…

JAは、ヒエを使った本格焼酎「稗造君」の製造元で7月5日からの九州北部豪雨の被害を受けた(株)篠崎(福岡県朝倉市)へ義援金を贈りました。義援金額は、母ちゃんハウスだあすこ20周年創業祭期間中に販売した「稗造君」の売り上げの一部を含む10万円を寄付しました。

ぼらーの広場

ぼらーの広場は、読者の皆様との交流の場です。皆様からテーマにちなんだお便りを募集し、紹介しています。投稿を頂いた方の中から抽選で素敵なJA商品が当たります！

今月のテーマ 夏祭り



私は鬼剣舞がとても好きです。特に農業祭や文化祭などで、暑い中一生懸命に踊る高校生には感心します。(北上市・サル子)

息子2人が石鳥谷まつりバカです。準備から3日間のまつりの間は仕事も休み、毎日反省会や慰労会で飲みっぱなしです。(花巻市・やっちゃん)

さんさ踊りの最終日に生まれた娘。「ママのお腹の中で太鼓の音聞こえたよ」と毎年帰省しては参加しています。(宮城県・なっちゃん)

夏祭りの思い出は、今は亡き父と母、私の3人で行った花巻まつりです。父がまだ元気だった頃を思い出します。(北上市・ドラえもん)

大迫の夏祭りといえば「あんどんまつり」。小さい頃はよく行っていましたが、最近はテレビで見て楽しんでいます。(花巻市・ざっしー)

花火を「綺麗だね～」と言った彼女に「綺麗だよ」と顔を見て言ったらチューしてきたのが思い出です。1カ月で別れましたが。(紫波郡・マツキ)

来月のテーマ(10月号掲載)「○○の秋」 応募締切/9月11日(月) 消印有効

テーマにちなんだエピソードを募集します。

芸術、食欲、スポーツ…などなど、あなたにとっての「秋」をお寄せ下さい

応募方法：①テーマにちなんだお話②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号③ペンネーム④JAや広報誌に関するご意見・ご感想を記入の上、はがきまたはメールにてご応募ください。

※投稿頂いた中から内容を誌面に掲載させていただきます。ペンネームが無い場合はイニシャルでの掲載になります。

●はがき：〒025-8504 花巻市野田 316-1 JAいわて花巻企画広報課「ぼらーの広場」宛

●メール：polano@jahanamaki.or.jp ●当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

お便りを投稿頂いた方の中から抽選で5名様にJA農産物直売所商品やJA商品をプレゼント!

かがやく女性部

32のサークルが設立 仲間の輪を広げよう！ きらきら星サークル活動

女性部とJAは、女性部の力で地域を元気にし、JAの理解を深めようと「きらきら星サークル活動」を平成28年度より開始しました。

女性部活動やJAを広く知ってもらおう契機となるよう、メンバーには女性部員が3人以上加入するようにしました。仲間の輪を広げ、部員拡大に繋がる事を目指しています。これまでに32のサークルが立ち上がり、75人以上の地域住民を仲間を迎え入れて活動を展開。それぞれのグループが、ものづくりや手話、体操や食に関する活動など、幅広い自主的な活動を展開しています。

女性部が活動経費を助成するほか、JAは講師の紹介や場所の提供などで支援しています。



宮野目支部では地域住民2人を迎え、初心者向け家庭菜園サークル「ひよっこ会」を新設しました。部員のほか、地域住民にも「野菜作りの基礎を学びたい」というニーズを聞いていた支部のメンバーが企画したものです。

6月下旬の初回の講座では、地元農家からミニトマトの定植、脇芽かき、収穫までの一連の作業を学びました。斉藤和加子代表は「誰もが気軽に参加でき、農業を通じて仲間の輪を広げる場にしたい。JAの支援もあり、活発な活動ができる」と笑顔を見せました。



心を耕し未来へ 食と農の掲示板 収穫を通して園児と交流 ～かめがもりブルーベリー収穫祭～



おいしいブルーベリーに、たくさんの笑顔が溢れました

交流を深めながら味わった収穫祭

花巻市大迫町の山口集落は7月11日、集落のブルーベリーほ場に地元の亀ヶ森保育園児を招き、「かめがもりブルーベリー収穫祭」を開きました。

3～5歳児の園児や集落の構成員、JAなど28人が参加しました。園児たちは、集落の構成員などから「黒い実を採るんだよ」と教わりながら、園児の背丈ほどの木にたわわに実った大粒のブルーベリーを収穫。採れたての実を頬張り、「甘いけど少し酸っぱい」「こっちはとっても甘い!」と味わい、ブルーベリーの味を学びました。収穫を通して集落の構成員やJA職員などとの交

流も深め、ほ場はたくさんの笑顔で溢れました。また、家庭への土産用として、おいしい実を選びパックに詰めて持ち帰りました。5歳児クラスの菊池采花ちゃんは「甘くておいしい! みんなと一緒に食べて楽しかった。家にも持って帰る」と笑顔を見せました。

この収穫祭は、地域の力で園児を育てていこうと集落が10年以上続けている企画。集落の高橋義信さんは「今年も園児に楽しんでもらえた。この収穫祭は園児が毎年楽しみにしていて、学びの場でもある。これからも続けていきたい」と話しました。

JA職員を募集します

平成30年4月に採用する職員の採用試験を行います。詳細は次のとおりです。また、採用試験の実施にあたり、JAいわて花巻の事業概要・業務内容・採用試験日程などに関しましては、当JAホームページをご覧ください。

職種	募集予定人数	受験資格	受付期間	備考
総合職	12名程度	大学を平成30年3月卒業見込みの方	随時 平成29年9月12日(火) 必着	9月12日付の 消印は 受付しません
	3名程度	短期大学・高等専門学校・専修学校を平成30年3月卒業見込みの方		
	25名程度	中途採用者(満35歳以下) 昭和57年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた方	平成29年9月5日(火)～ 9月12日(火) 必着	

◎試験日 **筆記試験：平成29年9月16日(土)**
面接試験：平成29年9月28日(木)

※応募方法：JAのホームページをご確認ください。http://www.jahanamaki.or.jp/
※お問い合わせ：企画管理部人事課 TEL 0198-22-6266(直通) FAX 0198-24-9178 Eメール zinzi@jahanamaki.or.jp

北上地域野菜・花き・菌床しいたけ 新規栽培説明会・ほ場見学バスツアー

～新たに栽培を検討されている方への説明会を開催します～

◎日時
平成29年8月22日(火)
午前9時～正午

◎会場
北上地域営農センター2階会議室(北上市流通センター19-33)

◎内容
生産者ほ場見学(アスパラガス・ねぎ・小菊・菌床しいたけ)
栽培説明会
質疑応答と個別相談

◎対象
出荷を目的とし、北上市内でアスパラガス、ねぎ、小菊、菌床しいたけのいずれかの生産をしたい方
※家庭菜園向けではありません

◎申込期限
平成29年8月17日(木) まで

◎お問い合わせ
北上地域営農センター 園芸販売課 ☎0197-71-1333
または各支店営農課へ
(主催：北上地方農林業振興協議会、JAいわて花巻)

花巻地域新規栽培希望者対象 園芸YARUBEセミナー開催

栽培現場を見学!

将来、販売を目的とした野菜「キュウリ、ピーマン、ミニトマト、トマト、ナス、アスパラガス、ネギ」の栽培に取り組みたい方を対象にほ場見学会を開きます。ぜひ参加してみませんか?

日時
平成29年9月2日(土)午前9時～正午

集合場所
本店総合営農指導拠点センター前
(花巻市野田335-2)

内容
1. 生産者ほ場見学(バス移動)
2. 個別相談

対象
販売を目的とした野菜「キュウリ、ピーマン、ミニトマト、トマト、ナス、アスパラガス、ネギ」の栽培に取り組みたい方
※家庭菜園向けではありません。

定員
15人程度(定員になり次第締め切ります)

参加費
無料

お申し込み
8月28日(月)までに電話またはファックス(住所・氏名・TELを記入)でお申し込み下さい。

◎お問い合わせ・お申し込み 花巻市農政課 ☎0198-23-1400 FAX 0198-23-1403(主催：花巻市農業対策振興本部、JAいわて花巻)

※[役員室より]はお休みです。

※他地域で新規栽培者向け説明会などを開催する際には随時お知らせ致します。

情報番組「あいのうどjam」 ラジオ放送を開始

JAは、農業や農畜産物の魅力、JA事業の紹介などを広く地域住民に伝えるため、えふえむ花巻(株)で情報番組「あいのうどjam」を始めました。JA職員とパーソナリティの掛け合いを放送しています。ぜひ、お聞きください。

- ラジオ局
FMOne (78.7MHz)
- 放送日時
毎月第2・4木曜日
午前7時36分から8分間
(生放送番組・まんず787内)
- 放送内容
旬の農産物紹介、産直情報、JAの事業紹介、イベント情報など
- お問い合わせ
企画管理部企画広報課
☎0198-22-6288

JA葬祭統一 人形・ぬいぐるみ供養祭

いつも一緒だった人形やぬいぐるみがお家の片隅にありませんか?なかなか捨てられない方はぜひお持ちになり、みんなで供養しましょう。

- 日時・場所
9月10日(日) 午前11時～
花巻葬祭センター(花巻市豊沢町8-8)
- 人形・ぬいぐるみ受付
9月9日(土) 午前9時～午後4時
9月10日(日) 午前9時～午前10時30分
※ガラス製、陶器等の人形、ガラスケースは受付できません
- 供養料 500円
※岩泉災害支援に寄付します
- お問い合わせ
(株)JAグリーンサービス花巻
花巻葬祭センター事業本部
☎0198-22-4382

JAいわてグループが協賛・出店 いしがきミュージックフェスティバル2017

JAいわてグループは、盛岡市街中心部で開催される音楽イベント「いしがきミュージックフェスティバル2017」に協賛・出店します。入場無料ですので、ぜひお越し下さい。

- 開催日
9月18日(月・祝)
- いしがきミュージックフェスティバル
盛岡城跡など市内各所のステージで開催します。さまざまなジャンルや年代の地元アーティスト、高校生、大学生が参加する予定です。
- JAいわてグループの出店
県内JAが農畜産物や加工品を格安で販売。当JAは、ライスパーガーなどを販売します。
- お問い合わせ
企画管理部企画広報課
☎0198-22-6288

農業・農村体験受入農家を募集しています

JAは、都市との交流により農業・農村の活性化に結び付けるため、グリーン・ツーリズムに取り組んでいます。受入に興味のある農家の方、そのお手伝いをしていただける方は、下記の連絡先にご連絡をお願いします。

- 受入にあたって
 - ・1戸あたりの受入人数は、4人程度です。
 - ・農作業の内容は、農家にお任せします。(その時期に農家で行う仕事)
 - ・食事は、普段食べているものでお願いします。
 - ・体験料を農家にお支払い致します。(生徒1人につき、1泊2日で約7千円)
- ※受入農家をお手伝いいただけるボランティアも募集しております。(農作業、食事、宿泊補助)
- 募集締切
平成29年12月29日(金)
- お問い合わせ
生活福祉部生活ふれあい課
☎0198-45-1213

「風趣点景」に掲載する 写真掲載スポットを募集!!

ぼらーの花巻では、皆様のお住まいの地域にある写真撮影スポットを募集しています。四季折々に映える風景や地元の人だからこそ知っている隠れたベスト写真スポットをお寄せください。

皆様から寄せられたスポットが、ぼらーの花巻の裏表紙「風趣点景」で美しくダイナミックな写真となって掲載されるかも!?皆様からの沢山のご応募お待ちしております。

- 応募フォーム
JAいわて花巻ホームページ応募フォーム
http://www.jahanamaki.or.jp/entry/
もしくは右下のQRコードを読み取り必要事項を記入し、本文に名称と所在地を記載した上で送信してください。
- お問い合わせ
企画管理部企画広報課
☎0198-22-6288



リンゴ選果作業員募集

JAでは、リンゴ選果場で作業していただける方を募集しています。性別問わず、初心者でも出来る単純作業ですのでお気軽にお問い合わせください。元気な学生さんも大歓迎です。

【作業期間】	9月～12月
【作業時間】	午前8時30分～午後5時を基本とします ※勤務時間をご都合に合わせて相談に応じます。土日のみでも大歓迎です。
【作業内容】	リンゴの選別、箱詰め、コンテナ移動など
【必要な資格】	特になし(フォークリフト免許を有する方歓迎)
【年齢制限】	健康で元気な方(～65歳くらい)
【作業場所】	下記3カ所のいずれかに従事していただきます。
【休日】	ご都合に合わせて随時取得可能
【賃金目安】	時給 750円～

●お問い合わせ 花巻園芸センター(担当：佐々木) ☎0198-28-2202

理事会だより

次の事項について審議され、全議案議決されました。

第7回理事会 開催日：7月28日(金)

■決議事項

- 第1号議案 固定資産(中央CE乾燥機バーナー及び基礎他更新工事)の取得について
- 第2号議案 固定資産(西南CE乾燥機バーナー及び基礎他更新工事)の取得について
- 第3号議案 固定資産(口内RC色彩選別機増設工事)の取得について
- 第4号議案 グループホームとどろき利用料の設定変更について
- 第5号議案 グループホームとどろき運営規程の制定について
- 第6号議案 グループホームとどろき介護予防運営規程の制定について
- 第7号議案 大口貸出(利益相反取引)の決定について

●監事会だより
次の事項について協議されました。

■協議事項

- (1) 平成29年度上半期決算監査の実施について

風趣点景

管内四季だより⑰



「観音様の語らい」

釜石市大平町(釜石大観音)

写真・文/高沢 翔(西和賀町沢内)

西和賀町をメインに風景写真を撮っている写真家。

ホームページ「高沢翔写真館」<http://shou.eek.jp>

撮影データ(デジタルカメラ)	2016年5月中旬
ISO感度: 100	絞り: f16
	露出補正: +2.0

陸中海岸の霊場「釜石大観音」。1970年に、石応禅寺により建立されたということですが、何年ぶりか訪れた大観音でしたが、観音入口の左側に石段があり小さな観音様が建っていました。聞くと、2011年の東日本大震災の2年後に個人の方が建立されたという「聖観音」。

下に降りてその観音様を撮っていて、お互いに向い合うアングルを発見。おふたりで何を話されているのでしょうか。

最近は写真撮影についてよく考える。現場では「いいもの撮れた!」と思っても後でいざ見ると構図やら明るさやら問題点が続々見えてくる。トライアンドエラー。少しずつでも上手く撮れるようになりたい。そして8月に入ってからやっと梅雨明けが宣言された。暑くなるので体調に気をつけたい。「小原」

先日、法事に参列するため北海道へ行ってきた。その際に、ふと目に留まったテレビ番組がある。北海道在住のアナウンサーが東北を旅する番組だ。一面に広がる田んぼに驚いたり、わんこそばに挑戦したり。私の普通の世界が「異世界」のように映っていた。違う視点でこの世界を見ると、未だ新しい発見がある。「佐藤」

取材先で衝撃的な出会いがあった。その人の言葉は力強く、目には説得力がある。「人生の中で、今この瞬間が一番輝いている。1分後の自分以後悔させない今を生きているから」と無邪気に笑う。「それが全力?本気で人と己に向き合って。1度きりの人生、濃く生きなきゃ」この人と話をしていると血が沸く。さあいくぞ、人生のギアをトップへ。「大内」



編集後記

From Editor's